

令和 7 年度第 2 回名古屋大学医療安全管理業務監査委員会議事録

日 時：令和 7 年 12 月 8 日（月）15：30～16：30

場 所：医系研究棟 1 号館 地下 1 階会議室

出席者：柵木委員長、長谷川（潤）、長谷川（ふ）、松下の各委員

本院側出席者：丸山病院長、長尾副病院長（医療安全管理責任者）、池末薬剤部長（医薬品安全管理責任者）、田中医療機器総管理部長（医療機器安全管理責任者）、栗原病院助教（患者安全推進部）、藤井臨床工学技士（臨床工学技術部）

（以下、○監査委員 ●病院出席者）

議 題

1. 医療安全管理責任者の業務状況について

長尾副病院長から、資料に基づき、令和 7 年度上半期のインシデント報告状況について、職種別・診療科別等の傾向及び推移、ならびにレベル別の報告件数等について報告があった。

2. 医療機器安全管理責任者の業務状況について

田中医療機器総管理部長から、資料に基づき、令和 7 年度上半期の医療機器・医療材料に関するインシデント・アクシデントレポートの件数及び区分等について報告があった。

次いで、藤井臨床工学技士から、院内における除細動器及び AED の管理状況について、病棟設置の除細動器を AED へ移行したこと、並びに AED の保守点検を ICT により遠隔で実施可能としたこと等の報告があり、医療機器管理の観点から病院全体の医療安全に寄与した事例として説明があった。

○AEDはどのくらいの使用頻度か。

●月 2～3 回程度の使用頻度である。ただし、実際に患者さんに使用した回数ではなく、機器が持ち出された回数である。

3. 医薬品安全管理責任者の業務状況について

池末薬剤部長から、資料に基づき、薬剤部からの疑義照会件数とそれに伴う処方変更の割合に関して報告があった。次いで、医薬品安全運用協議会の活動状況及び未承認新規医薬品等評価委員会の審議概要等について報告があった。

4. 患者安全推進部の業務状況（トピックス）について

長尾副病院長から①「新たに完成した事例調査報告書」について、栗原病院助教から②「報告書確認について」、長尾副病院長から③「CQSO、EQSO、AQSOプロジェクトについて」及び④「2017 年に発生した頸部術後急変による事故調査事例について」、それぞれ資料に基づき説明があった。これについて、監査委員及び病院出席者から次のとおり意見等があった。

②について

○他大学において、同じような事例が発生しているか。

●全国的にも類似事例が報告されていると認識している。

5. 患者安全推進委員会の業務状況について

委員長から、資料について確認していただき、意見・質問等がある場合は、会議終了後に事務局まで連絡していただくよう説明があった。

6. 講評

委員長から、各委員に講評をお願いしたい旨の発言があり、以下のとおりコメントがあった。

○今回報告のあった事例に関しては、再発防止に注力願いたい。

○医療安全管理が高いレベルで適切に実施されていることが確認できた。

○継続的、多角的な観点から、医療安全に関する調査・検証がなされており、業務が適正に実施されていると評価する。報告書確認に関する取組については、報告書の記載内容一つで対応が大きく異なり得る点を改めて認識させられるものであった。今後の推移にも期待したい。

○医療事故が起きた際に、医療安全管理部門が診療現場から一定の距離を保ちつつ、客観的な立場で検討及び報告が行われており、その責務を適切に果たしているとの印象を受けた。

7. その他

委員長から、次回開催は来年5～6月を予定しており、日程については後日事務局を通じて調整する旨の案内があった。

丸山病院長から、本日の監査委員会実施に係る謝辞の後、委員各位の任期が今年度末で満了することに伴い、後日事務局から来期の委嘱依頼を行いたい旨の案内があった。

以上